

## 耕畜連携の現状と課題を関係者間で共有し支援へ

地域完結型による耕畜連携のサイクルの現状と課題について、関係者間で共有するとともに、支援できる枠組みを構築

### ○ 施策分類

草地・飼料

### ○ きっかけ・背景、課題の把握

輸入飼料原料の価格上昇や供給不安が続く中、福井県においては、既存の耕畜連携の取組を維持・発展させるための情報共有の場や取組を支援する枠組み作りが必要な状況であった。

### ○ 取組の内容

当拠点が実施している地域の課題・問題を関係者と共有する「現地密着型農政推進懇談会」において、大野市南六呂師地区の酪農家、堆肥製造事業者、市内の飼料生産者及び行政機関（福井県・大野市）が集まり、耕畜連携に係る取組状況と、糞尿等の原材料の不足や稲WCSの需要の不透明等から生産拡大できないとの課題を共有した。

### ○ 効果・成果、今後の方向性

今後、耕畜連携サイクルを維持・発展させるため、協力体制を築いた支援関係機関が、引き続き共同で意見交換や説明会を実施するなどして、施設整備や機械導入、担い手育成等の支援に連携して取り組む。当拠点としては、耕畜連携サイクルに関わる農業者等に対し、各種支援事業の活用や飼料供給先の拡大を促しつつ、継続して伴走支援を行うこととしている。



たい肥センターの視察風景

現地密着型農政推進懇談会の様子

### 体制図

